

日本

韓国

米国

中国

ロシア

23日

15:20 「北朝鮮による砲撃事件に関する情報連絡室」設置

15:30 総理に第一報

16:45 情勢報告、総理指示

17:10 総理ぶら下がり取材

19:10 駐日韓国大使の官房長官来訪

20:30 在韓大使、韓国外交通商部長官と会談

20:45 関係閣僚会合

21:48 官房長官会見

- 北朝鮮を強く非難
- 弔意を表し、韓国政府の立場を支持
- 北東アジア全体の平和と安全を損なう行為を直ちにやめるよう求める
- 総理指示を踏まえ、韓国、米国等と緊密に連携、情報収集に努め、万全の体制を整える

14:34 北朝鮮軍砲撃
14:40 大統領は一報を受け、青瓦台地下にある国家危機管理センターに移動。
14:47頃 交戦規則に従い、対応射撃(80発)を実施

18時過ぎ 緊急安保長官会議、広報首席秘書官の声明

- 韓国に対する明白な武力挑発
- 民間人への無差別砲撃は決して許せない
- 韓国軍は交戦遵守規則に則り直ちに対応、追加挑発時には断固として報復
- 北朝鮮当局者は応分の責任を取るべき

18:30 合同参謀本部発表

20:37 大統領が合同参謀本部を訪問

18:30頃 大統領報道官声明

- 韓国と緊密に連携
- 攻撃を強く非難、北朝鮮に対し、休戦協定の完全な遵守を求める
- 韓国の防衛と地域の平和と安全の維持に対し、強固にコミット

21:50頃 ラブロフ外相発言が報道される

- 非難に値する事態。
- 砲撃を始めた者は大きな責任負うべき。
- 関係国が事態の沈静化と再発防止に向け、迅速な措置をとるよう求める。

	日本	韓国	米国	中国	ロシア
24日	<p>10:25 外相、韓国外交通商部長官と電話会談</p> <p>11:06 「北朝鮮による砲撃事件対策本部」設置</p> <p>12:08 総理、李韓国大統領と電話会談</p> <p>15:30 第1回「北朝鮮による砲撃事件情報連絡会議」</p> <p>16:00頃 与野党党首会談</p>	<p>午前 国防相、米国防長官と電話会談</p> <p>12:08 大統領、菅総理と電話会談</p>	<p>1:17 大統領副報道官懇談で「大統領は激怒」</p> <p>未明 オバマ大統領TVインタビュー</p> <p>午前 国防長官、韓国国防相と電話会談</p> <p>11:30頃～ オバマ大統領、李大統領と電話会談</p>	<p>22:00頃 外交部報道発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関連事件を高度に注目 ●死傷者等の発生に心を痛め、遺憾 ●半島の平和と安定を損なう行為に反対 ●双方に冷静と自制を保ち、対話と接触を行い、類似事件の発生回避を強く呼びかけ ●情勢の緩和、半島の平和と安定のため、関係各方面との努力を望む 	
25日		午後 韓国国防相辞任			